

込まれるソフトウェア市場は66.7兆円といわれる。関西はソフト産業の集積地であるが、今後10年を見た場合、国内のリソースだけでは疑問。海外との連携が重要」と指摘。ベトナム・ソフトウェア協会のピン会長は「ベトナムにとって組み込みソフトウェアはチャ

ンス。日本は戦略的パートナーだ。ベトナムにもものづくりの精神があり、一層の交流が必要」と語った。また、ハノイ工科大学のトゥ副学長は「品質重視は認識している。プライドは収入に裏打ちされると思う。緻密なものづくりの考えは両国共通」と述べた。

●海運特化会計システムのA I S 「TRANS-Account」、利用企業着実に増加 バルカー営業・運航管理Sも引き合い増

海運特化型の会計システム開発などを手掛ける「エイ・アイ・エス」(本社=東京都、略称A I S)が開発、販売するウェブ版の海運業界向け戦略的会計システム「TRANS-Account」を導入する船社、NVOCCが着実に増加している。また、販売強化中の船主向け決算予測システム「TRANS-Owner」や、A I Sが国内販売権を持つバルカー・タンカー向けの営業/運航統合管理システム「BMS」(バルク・マネージメント・システム)も、かなりの引き合いがあるという。BMSは株式会社海運グループのIT企業「サイバーロジテック」が開発した商品で、両社が昨年9月に協業契約を締結し、A I Sが国内での販売を手掛けている。

企業の会計ソフトには多くの汎用型商品があるが、「TRANS-Account」は海運業務などに着目、特化し開発した「ERP」(会計版基幹統合型ソフト)ともいえるソリューションシステム。機能の主な特徴は、①貸借対照表(B/S)勘定消し込み機能(前受金、立替金、代理店債権/債務、その他未決算勘定などのB/S勘定の取りが決済されているかどうかの顛末管理について、自動消し込み対象の科目が計上された仕訳データを借り方、貸し方に一覧表示し、取引先、船名などを自動マッチングできる)②管理コード別帳票出力機能(船舶、航海ごとの損益管理が可能)③相殺精算機能(船主が負担すべき費用を立て替えている場合、用船料から立替金を差し引き相殺でき、精算した債権・債務を選択実行するだけで精算書を作成)④多通貨会計機能(取引通貨ごとに外貨残高、邦貨残高を把握でき、かつ、ドル基軸の海外子会社の会計処理にも対応可能)。「TRANS-Account」に関しては昨年、新モデルとしてグローバル化やJ-SOX法(金融商品取引法)などのほか、ウェブ対応により、操作・保守・運用性を向上させた。

また、バルカーやタンカーなどの営業/運航を統

合的に管理・支援するBMSは、熟練者による手作業だった採算管理や紙情報をデータベース管理し、採算分析や今後の営業活動に生かすのが狙い。顧客サービスの強化と併せ、データの二重入力の排除など社内業務の効率化や情報共有化にも役立たせる。主な機能は、①リアルタイムでの状況把握(事業計画→見積もり→契約→実績登録)と情報蓄積し、経営の意思決定の迅速化を支援②運航段階別(初期採算—船積み—航海完了—請求)の採算分析や実績管理③実績資料をシステム内に蓄積し、エクセル加工で多種多様なレポート作成も可能④請求、港費計上などの帳票打ち出し作業機能を自動化した点—など。特に複数荷主貨物の輸送や期間用船・数量輸送契約などの場合、有用性が一層高いという。

船主業務を支援する「TRANS-Owner」の主な機能は、①造船契約情報登録②借入金管理(登録、返済)③資金繰り管理④用船契約情報登録⑤船費予算情報登録—など。10年先までの財務諸表(キャッシュフロー計算書、B/S、P/L)を出力でき、投資家から財務諸表の開示を求められても迅速対応が可能という。また、造船所への支払いに関しても、資金調達ができているか確認できる機能などを持つのが大きな特徴。

これら上流系システムのBMS、「TRANS-Owner」とも、「TRANS-Account」とのインターフェイスが可能で、A I Sでは「パッケージで利用すれば、船社や船主にとってはさらに有効性が高まる」という。各システムの問い合わせ先はA I S神戸営業所(電話078-232-1111、FAX078-232-1166、担当：林尚志氏)。

U I C T、8月も海上輸出が好調

宇都宮国際貨物ターミナル(U I C T)の8月の取扱実績は、件数が前年同月比16.8%減の1960件、重量が7.1%増の889トンのだった。うち海上貨物は、輸出が87件(6.5%減)・185トンの(36.3%増)、輸入が58件(12.1%減)・330トンの(14.2%増)。